部名	SDGs推進に係る重点取組項目
総務部	年次休暇や男性職員の子の養育休暇の取得を促進することで、家庭生活への関りを推進し、男女を問わず育児や介護等を担う職員が活躍できる職場環境を整備し、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成を目指します。 つつじバスについて、学生から高齢者まで、より多くの方々に日常の移動交通手段として利用いただくことによって、目標11「住み続けられるまちづくりを」や目標13「気候変動に具体的な対策を」につながるように、新たな利用者へのサービス提供の仕組みについて、企画・研究に取り組みます。 市民サービス向上のためのマイナンバーカード啓発・普及促進により行政事務・手続きのデジタル化、ICTを活用したまちづくりの推進を図り、目標8「働きがいも経済成長も」の達成を目指します。 社会や環境を意識した消費行動として、エシカル消費(人と社会、地球環境、地域等のことを考慮して作られたものを購入・消費する)等の普及啓発活動に取り組み、消費者教育の充実を図り、目標12「つくる責任つかう責任」の達成を目指します。
政策経営部	SDGs未来都市として、女性が輝くまちづくりを軸に、企業や学校、市民団体等と協働で、地域特性を活かしたSDGsの取組みを推進するとともに、さばえSDGs推進センターの整備や「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を発行し市民の行政への参加意識の向上を図ることにより、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成を目指します。 男性理解や意識改革の推進をベースに、女性の参画意欲の向上を図り、男女が共に活躍できる職場づくりや企業、事業所に対するワーク・ライフ・バランスの推進、働きやすい職場環境整備の促進に努め、女性がいきいきと輝きエンパワーメントを十分に発揮できる環境を醸成することで、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指します。
健康福祉部	高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者等すべての人々が、個人の尊厳を認め合い、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの推進に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の健康が脅かされたり、感染に対する不安が高まっていることを踏まえ、関係団体、関係機関等と連携して新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成を目指します。 男女が働きながら安心して子育てができる、また、家族が協力して育児や家事の手助けをする環境づくりを推進するために、子育て支援ネットワークによる啓発活動や、子育て支援の充実に取り組み、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成を目指します。 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所の休業等により生活に困窮している方からの様々な相談に対応し、関係機関と連携しながら相談者に寄り添った就労支援等を実施するなど、自立生活に向けた支援を行うとともに、貧困の連鎖を断ち切るために生活困窮家庭の子どもへの学習支援を行うことで、目標1「貧困をなくそう」の達成を目指します。
産業環境部	「持続可能なまちづくり」の実現に向け、市民へのSDGs普及啓発の機会を増加させ、市民のSDGsに対する意識向上を図るため、商店街で実施している事業に対してSDGs推進枠を設けて補助金支援を行うことで、目標2「飢餓をゼロに」、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさも守ろう」の達成を目指します。 ごみの排出量削減と資源化率のより一層の向上に努め、ごみを出来るだけ少なくすることで目標12「つくる責任 つかう責任」の達成を目指します。また、自らが環境に配慮して行動する「環境市民」の育成や、脱炭素社会を目指す取組みの普及啓発に努めることで、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成を目指します。
都市整備部	子どもから高齢者まで全ての市民が安全・安心して生活ができるよう、道路・河川・公園・下水道・駐車場などの都市施設や市営住宅の整備・更新に取り組むとともに、里親制度による市民協働のまち美化に努め、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」および目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指します。 また、水源涵養や生態系保全、里山など様々な機能を有する森林の景観再生や林道整備に取り組むとともに、上水道管路の耐震化を推進し、目標6「安全な水とトイレを世界中に」および目標15「陸の豊かさも守ろう」の達成を目指します。
教育委員会	2030年の地球を担う今の子どもたちに、SDGsを理解する学習を取り入れ、身近なところから考えるきっかけづくりを進め、自ら考え、行動する力を育成します。特に、自己肯定感を高め、他者理解を深めながら、互いに認め合い励まし支え合う学級づくりを通して、男女平等の大切さを学び、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成を目指します。また、教室等での節電・節水等の実践を通して、エネルギーを上手に使うことを学び、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の達成を目指します。さらに、食育の充実を図ることを通して、食文化・食の安全・地産地消の問題等について学び、目標12「つくる責任 つかう責任」の達成を目指します。生涯学習・まちづくり活動を支援する場として、公民館・高年大学等との連携強化に努めるとともに、「鯖江型」生涯スポーツ社会を推進し、スポーツ環境を最大限に活用した健康長寿の伸長を図ることで、目標4「質の高い教育をみんなに」および目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指します。